

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No 032号 2011.06.08
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-781
<http://www.phenix.or.jp/ikkk/>

保安任務には、心身の健康が不可欠

被解雇者、退職者、会社に残った人も悔しい思いをした
～病欠日数基準で解雇された原告が意見陳述～

5月25日、JAL 不当解雇撤回裁判(原告:客室乗務員)の第3回口頭弁論が開かれました。裁判所前の宣伝行動、裁判の傍聴、そして報告集会と、半日行動が組み、195名の方が支援に駆けつけてくれました。遅くなりましたが、裁判後の報告集会での報告・挨拶等を報告します。

みんなの熱い思いを背中で感じて陳述した ＝神瀬さんの報告＝



集会で報告する神瀬さん

大阪基地から成田基地へ転勤させられ3カ月後、過去の病気欠勤を理由に解雇されました。解雇された人だけでなく、希望退職した人も会社に残った人も悔しい思いをしました。紙屑のように捨てられた自分の不幸を思い、その理不尽さを訴えました。みんなの熱い思いを背中で感じ、最後まで読み上げることができました。皆さんがいたからこそ、頑張れました。最後まで頑張りました。

署名は2万筆以上、組織をあげて頑張る

新婦人の会では、署名を2万筆以上集めました。JALの整理解雇は組合つぶし、ベテラン、女性の働く権利がないがしろにしている。全員が戻れるよう、組織をあげて一緒に頑張りたい。(新婦人の会中央委員児玉さん)

メンタル口実の解雇は許せない

陳述を聞いて、真面目に働いてきた者がメンタルで休み、それを口実に解雇されるのは許されないと思った。メンタルな病は自分の周りにも多い。共に頑張らしましょう。(ブルームバーグの松岡さん)

職場から声＝「原告と一緒に頑張る」

現在の職場は委縮した雰囲気です。不安要素も増えています。物言えぬ職場を変えるため一日も早く皆さんが戻って来てほしいです。裁判傍聴ができなくても原告と一緒に頑張りたいという声もたくさん届いています。共に頑張らしましょう。(職場で頑張るCCU組合員)

NTTもJALも儲け優先の体質は同じ

NTTの不当労働行為が最高裁でも認められました。私達もJALと同じく、国民のライフライン＝通信を守るために、闘っています。

NTTは電話料金を上げ、売り上げが、一台当たり4000円以下の公衆電話をなくしました。携帯を普及させたが、震災となると携帯が全くつながらないのです。また、JALがジャンボ機を買わされたように、NTTも米国製の交換機用バッテリーを買わされました。米国製に替わり、それまで6～7時間もつたバッテリーが、30分しかもたないのです。NTTも原発事故の東電も、そしてJALも、儲け優先の経営体質と言う点では同じです。闘わないと正義は守れません。安全・正義を守るためにともに闘い抜きましょう。(通信労組元委員長岩崎さん)



多くの参加者を得て開かれた報告集会(5月25日)

今後の裁判日程

- 6月09日 乗員進行協議(11:00～)
- 6月15日 客乗進行協議(16:30～)
- 6月27日 乗員第4回口頭弁論(15:30～)
- 6月29日 日航本社前要請行動(15:00～16:00)
- 7月08日 客乗第4回口頭弁論(15:00～)